

至誠館大学

科目名	精神保健			コード			
英語表記							
担当教員名	今川 晋平			年度	平成28年度		
基準年次	3年次	開講期	後期	単位数	2		
授業形態	講義	授業形式		履修形態	選択		
授業概要							
今日のわが国で問題となっている様々なメンタルヘルス上の諸問題に関し、その事情を理解し、対応の方向性を探り、福祉職に求められる対人援助を的確に実践できることに主眼をおく。特に精神障害(精神疾患)をめぐる施策は大きく変化しつつある。そこで人間の成長や老化など各ライフサイクルの過程で現れる課題、例えば、家庭や学校、職場、地域における課題、認知症、薬物やアルコール関連問題、思春期対策など個別課題、文化や社会事象との関連で出現する課題などの学びを深める。							
到達目標							
本講義のテーマは人間のライフサイクルの各課題や精神保健・医療・福祉の幅広い分野の「今日の状況」を的確に把握することである。内容の「暗記」ではなく、自己で「考えて、発展させる力」を養い、また、それを言語化・文章化し、問題の自覚をすることを到達目標とする。							
授業計画							
第1回	オリエンテーション 講義内容及び評価方法の説明「精神保健」とは						
第2回	精神保健の基礎知識 「精神保健の概要」						
第3回	ライフサイクルにおける精神保健1「胎児期・乳児期・妊産婦の精神保健」						
第4回	ライフサイクルにおける精神保健2「学童期における精神保健」						
第5回	ライフサイクルにおける精神保健3「思春期における精神保健」						
第6回	ライフサイクルにおける精神保健4「青年期における精神保健」						
第7回	ライフサイクルにおける精神保健5「成人期における精神保健」						
第8回	ライフサイクルにおける精神保健6「老年期における精神保健」						
第9回	ターミナルケアと精神保健						
第10回	アルコール関連問題 SHGの存在意義						
第11回	薬物乱用防止対策問題 薬物依存とその歴史						
第12回	精神障害者関連問題1 精神障害者対策の歴史						
第13回	精神障害者関連問題2 精神障害者の地域生活支援						
第14回	精神障害者関連問題3 支援環境開発論						
第15回	講義のまとめ 脱施設化と地域生活支援						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
基本的には、出席状況・試験にて評価を行う。学則に定める出席日数をクリアしていない場合は試験は受けられませんので注意すること。レポートを課すこともあります。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				25	25	40	10
授業外学習			テキスト、教材				
基本的にはありません			新・精神保健福祉士養成講座2「精神保健学」				
			編集 日本精神保健福祉士養成校協会				
参考書			受講生へのメッセージ				
精神保健 これからのライフサイクルと心の健康 大島有・金田鈴江編			内容の「暗記」ではなく、自己で「考えて、発展させる力」を養い、また、それを言語化・文章化し、問題の自覚をすることを到達目標としています。講義においては積極的な参画を期待します。				
キーワード							
健康・精神保健福祉・発達課題							